



京都地本ニュース

JR西労組

西日本旅客鉄道労働組合 京都地方本部

発行責任者: 藤森 健二
編集責任者: 宮武 竜生

No.405 2026年3月1日

〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町 (京都駅構内 旧忘れ物センター 2階)

NTT 075-342-0850 FAX 075-342-0851

第35回地本委員会

京都地本は2月14日に京都テルサにおいて「JR西労組京都地本第35回地本委員会」を開催しました。

JR西労組京都地本第35回地本委員会は、議長に北摂支部の徳原委員を選出し開会しました。藤森委員長の挨拶から始まり、中央本部羽野執行委員長から情勢の報告を含めた挨拶、また京都3区JR連合国会議員懇談会の泉ケンタ衆議院議員も駆けつけ、連帯の挨拶を受けました。徳原議長の円滑な進行のもと、主な運動の総括、当面する活動方針(案)、2026年度暫定予算等の報告を行いました。



議長 徳原委員



藤森執行委員長



中央本部 羽野執行委員長

藤森委員長の挨拶では、全組合員の安全で安定した輸送への努力に感謝を述べました。年末年始の輸送は好調でしたが、自然災害の影響で多くの被害が発生したことも報告され、特に安全確保の重要性が強調されました。2026春闘については、物価の高騰に対して賃金が追いついていない現状が説明され、粘り強い交渉を引き続き行っていくと述べられました。全体として、組織の強化、安全確保、業務改善、政治活動の重要性が強調され、今後の活動に対する協力が求められました。



泉ケンタ衆議院
JR連合国会議員
懇談会副会長

本委員会では7人の委員が質疑を行い、組合員の声を届けていただきました。

【主な発言内容】

- ・団体乗車券の販売について
- ・巡回、駆けつけ対応化に伴う車いす介助への対応について
- ・遺失物対応の省略可について
- ・勤務時間外の連絡を拒否できる繋がらない権利について
- ・車両屋根上除雪における運転手続きの見直しについて
- ・2026春闘に向けての賃上げ要望について
- ・分会交付金の増額について
- ・賃金実態調査の時期について
- ・若手組合役員の負担について
- ・連合「愛のカンパ」の取り組み方法について
- ・質疑に対して個別答弁および総括答弁を行い、議案の採択、岩谷青年女性委員長から委員会宣言(案)を提起し、それぞれ満場一致で採択されました。
- ・最後は藤森委員長の団結ガンパローで心をひとつにして、2026春闘勝利と様々な課題に京都地本全体として取り組んでいくことを確認しました。

春闘勝利へ!!! 一致団結して がんばろー!



団結ガンパロー! 三唱

岡本書記長の総括答弁では『労働組合の活動は、市民性を体現し、民主主義を具体化する重要な役割を果たしています。西労組は、現在の課題への対応だけでなく、将来に向けた提言や提案も行う組織です。対立と協力を通じて、会社と利益を分配しつつ、共に成長する施策を推進する必要があります。少子高齢化や労働力不足に直面する中で、雇用を維持し、魅力ある産業を築くことが求められています。組合は、組合員の意見を尊重し、会社との協議を通じて課題を解決する責任があります。』と述べ、最後に活動の理解を深め、より多くの組合員の参画を要請しました。